

# 一村一エネ事業 設備等導入概要

市町村名 標茶町

1 補助事業名 時代・気候変動に対応できる地中熱活用による仔牛育成モデル事業

2 コンソーシアム名 地中熱活用による仔牛育成コンソーシアム

3 事業期間 平成28年11月1日 から 平成29年2月17日

## 4 事業の目的

酪農家が抱える、子牛の健全育成のための換気と温度管理という課題解決のため、地中熱交換システムの導入を図り、化石エネルギーの消費を抑制し、仔牛の疾病を減少させ、もって薬代などのコストも削減させることを実証し普及させようというもの。

5 補助金の交付額 18,799,000円

## 6 事業の概要

標茶町育成牧場へ地中熱交換システムの導入を図ります。具体的には、地中約3m程度の深さに水平方向に地中熱交換に係る配管を約200m埋設、そこに外気を導風して直接、熱交換し、換気をしながら夏は涼しく、冬は凍結防止が図られるもの。

## 7 事業の実施結果及び期待される効果

### 1. 環境エネルギー事業の創出

地中熱交換システムと太陽光発電等との併用化など、今後の発展が期待される

### 2. システム導入による仔牛へい死の低減、生乳生産量の安定、増産での収入の増加

泌乳牛のストレス減で乳量安定、増産が見込まれる

### 3. 作業環境改善による担い手確保

システム導入により、氷点下での搾乳作業等の労働環境改善による人材確保

### 4. 環境配慮型生産での地域ブランド・特産化

環境に優しい自然エネルギーを活用した酪農により、地場製品のイメージ向上が図られるとともに、育成時の抗生物質投与の減による安心・安全な育成の効果による付加価値向上

### 5. システム導入による競争力の向上・経営体質の強化

経営資源の安定確保、エネルギーコストの低減により、競争力向上、経営体質強化が図られる

## 8 今後の展開

リーフレット及び実証結果を公表しながら、本システムの啓蒙・普及活動を実施し、地

域内での普及を図るとともに、育成牧場での視察受け入れを行い、先進事例として、道内他地域にも広く普及啓発を行う。

## 9 状 況 写 真

